



平成27年12月22日
東京大学医科学研究所

平成27年度 文部科学省 新学術領域研究
がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動（研究代表者 今井浩三）
公開シンポジウム

文部科学省・新学術領域研究「がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動（研究代表者 東京大学医科学研究所 今井浩三特任研究員、代表事務局＝東京大学医科学研究所）」は平成28年2月8日（月）及び9日（火）、一橋講堂（学術総合センター2F）にて下記の通り公開シンポジウムを開催いたします。

「がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動」は、国内のがん研究者の連携と交流を図るとともに、共通基盤的な分野での支援を行う、バーチャルな研究所という理念を維持しながら運営を行なっています。がんや腫瘍をキーワードとして採択される研究者間の連携を図りつつ、広く生命科学全般にわたり個別研究として国際的な研究成果を生み出すための支援の仕組みを構築しています。また、ボトムアップの研究成果を予防・診断・治療へと社会に還元するための基盤研究のバックアップを行っています。

本支援活動は、平成22年度よりスタートし、今年度が最終年度となります。来年度からは新しい「生命科学全体に対する支援」の形でスタートすることが検討されております。今回のシンポジウムでは、新学術領域研究からの講演を中心とし、さらに若手研究者からの発表並びにポスター発表を行います。平成22年度より6年にわたり研究を支え推進してきた「がん支援活動」による取り組みの成果を確認し、改めて支援活動の意義、また、今後がん研究・生命科学により一層貢献しうる支援活動とは何かについて活発に議論を展開する予定です。

つきましては、本件について記事掲載および当日の取材等を是非お願いいたしたく、ご案内申し上げます。

記

日 時：平成28年2月8日（月）・9日（火）

場 所：一橋講堂 学術総合センター2F
〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

プログラム：

2月8日（月）

開会挨拶 13:00～13:10

シンポジウム「上皮管腔組織形成」 13:10～15:40

座長 八尾良司 がん研究会 がん研究所

中村卓郎 がん研究会 がん研究所

菊池 章 大阪大学 大学院医学系研究科 分子病態生化学

Wnt シグナル抑制因子 Dickkopf1 の新規受容体を介するがん細胞増殖機構

大澤志津江 京都大学 大学院生命科学研究科

細胞間コミュニケーションを介した上皮の内在性がん抑制機構

清川悦子 金沢医科大学 医学部
上皮細胞の試験管内・生体内イメージング
鈴木淳史 九州大学 生体防御医学研究所
細胞運命転換による肝内胆管がんの発症メカニズム
大野茂男 横浜市立大学 大学院医学研究科
細胞の形と運命をつなぐメカニズム：細胞極性タンパク質

休憩 15:40 ~ 16:00

若手研究者 Cutting edge 16:00 ~ 17:00
座長 藤田直也 がん研究会 がん化学療法センター
堺 隆一 国立がん研究センター研究所

加藤洋人 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 ゲノム病理学分野
次世代シーケンスを用いたがん間質相互作用の解析
古賀宣勝 国立がん研究センター 先端医療開発センター
便中 miRNA による大腸がん診断法の開発研究
谷川千津 東京大学 医科学研究所
マルチオミックス解析による p53 シグナル経路の解析

情報交換会（立食形式 会費制） 17:00 ~ 19:00

2月9日（火）

シンポジウム「がん研究最前線」 10:00 ~ 12:00
座長 広田 亨 がん研究会 がん研究所
古川洋一 東京大学 医科学研究所

「システム癌新次元」

稲澤譲治 東京医科歯科大学 難治疾患研究所分子細胞遺伝
／東京医科歯科大学 疾患バイオリソースセンター
がん細胞におけるアミノ酸欠乏時細胞文脈応答とオートファジー機能
高橋 隆 名古屋大学 大学院医学系研究科 分子腫瘍学分野
MYC の転写活性を修飾する long non-coding RNA の探索と同定

「レゾナンスバイオ」

今村健志 愛媛大学 大学院医学系研究科 分子病態医学講座
非線形光学のがん研究・がん医療応用

神谷真子 東京大学 大学院医学系研究科
Activatable 蛍光プローブの開発による癌蛍光イメージング

昼食 12:00 ~ 13:00

シンポジウム「がん研究最前線」 13:00 ~ 14:00
座長 清宮啓之 がん研究会 がん化学療法センター
秋山 徹 東京大学 分子細胞生物学研究所

「染色体OS」

白髭克彦 東京大学 分子細胞生物学研究所
転写の基本構造と希少疾患

石井浩二郎 大阪大学 大学院生命機能研究科
染色体の異数性が生み出す細胞変化

若手研究者 Cutting edge 14:00 ~ 14:40
座長 神奈木真理 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科
井上純一郎 東京大学 医科学研究所

定家真人 京都大学 大学院生命科学研究所 細胞周期学分野
細胞老化誘導メカニズムの解明を通じた新しいがん治療戦略の開発
片山量平 がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部
肺がん臨床検体を用いた分子標的薬耐性機構の解明

ポスター発表 (中会議場) 14:40 ~ 16:00

特別講演 16:00 ~ 16:40
座長 宮園浩平 東京大学 大学院医学系研究科

河上 裕 慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 細胞情報研究部門
新しい時代を迎えたがん免疫療法 -Immune checkpoint blockade and beyond-

閉会挨拶 宮園浩平 16:40 ~ 16:50

定員：500名

※ご参加いただける報道関係の方は、恐れ入りますが下記 URL の「参加申込フォーム」にてご登録願います。事前に申込登録されない場合でも、当日直接会場にお越しいただければ受付いたしますので、是非ご参加ください。

<http://mos-jp.com/shien/201602/>

※本シンポジウムの詳細は、以下のウェブサイトからもご参照いただけます。

<http://ganshien.umin.jp/seminar/symposium/20160208/>

(問い合わせ先)

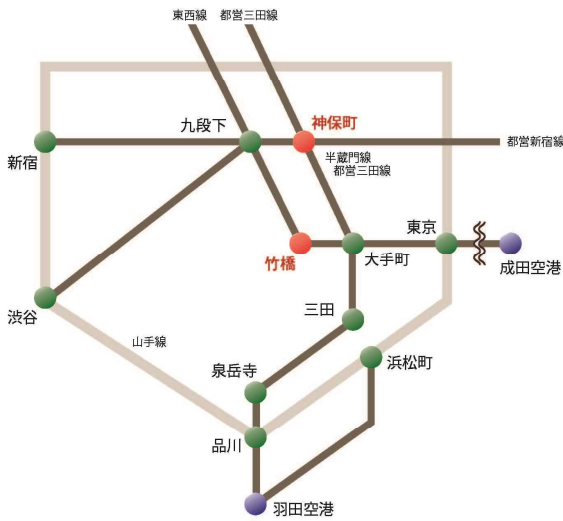
新学術領域研究 がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動
研究代表者 今井浩三 (東京大学医科学研究所 特任研究員)
代表事務局 東京大学医科学研究所
TEL : 03-6409-2424 FAX : 03-6409-2427

事務局担当 武居ゆり

E-mail: 2-ganshien@ims.u-tokyo.ac.jp

【会場アクセス】

学術総合センター 〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2



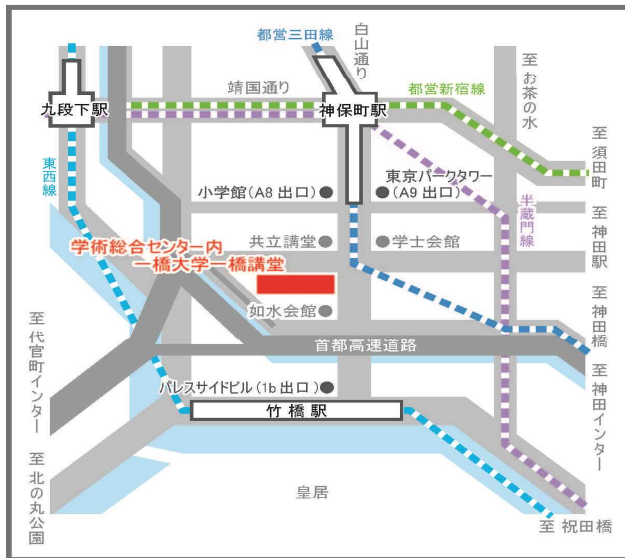
東京駅からの主なアクセス

- 「神保町駅」A8出口から 徒歩3分
東京－(丸ノ内線・池袋方面)－
大手町－(半蔵門線・中央林間方面)－
神保町 (10分)
- 「竹橋駅」1b出口から 徒歩4分
東京－(丸ノ内地下中央口より地下道で直結)－
大手町－(東西線・中野方面)－
竹橋 (10分)

羽田空港からの主なアクセス

- 「神保町駅」A8出口から 徒歩3分
羽田空港－(京浜急行・品川方面)－
泉岳寺－(都営浅草線・押上方面)－
三田－(都営三田線・西高島平方面)－
神保町 (50分)

一橋大学一橋講堂への経路



【一橋大学一橋講堂】
〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内

東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 神保町駅 (A8・A9 出口) 徒歩 4 分
※A8 出口は、近隣ビルの工事のため平成 25 年 10 月 5 日から閉鎖しております。
お越しの際には A9 出口をご利用ください。
東京メトロ東西線 竹橋駅 (1b 出口) 徒歩 4 分